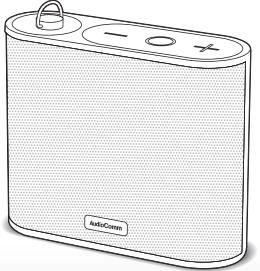


## 取扱説明書

ワイヤレスコンパクトスピーカー  
W200型番：ASP-W200N  
品番：03-2300

このたびは、AudioComm® ワイヤレスコンパクトスピーカー W200をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますよう大切に保管してください。

## 使い始める前に

本製品には、右記のものが含まれています。お使いの前に内容をお確かめください。

- スピーカー本体
- 専用充電コード(1本)
- 外部音声入力コード(1本)
- 保証書
- 取扱説明書(本書)

## 免責事項

下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。  
 ●弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合  
 ●本製品によって生じたデータやプログラムの消失または破損  
 ●本製品のために費やした時間及び経費  
 ●本製品を運用した結果もたらされた損害  
 ●本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失  
 ●本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

## 充電式電池について

**絶対に交換しないでください。誤って交換すると爆発する危険があります。**

●充電式電池(リチウムポリマー電池)は消耗品であり、正常に使用した場合でも経年により劣化します。

●充電式電池はリサイクルできます。廃棄については各自治体にご相談ください。

## 主な仕様

電源	DC5V(USB給電：USB Type-C入力端子)
内蔵バッテリー	充電式リチウムポリマー電池(3.7V 1200mAh)
実用最大出力	5W
スピーカー	口径40mm 4Ω×1、パッシブラジエーター×1
再生周波数帯域	100Hz～20kHz
SN比	≥70dB
マイク(内蔵)	全指向型(感度：-42dB)
外部音声入力端子	φ3.5mmステレオミニジャック
通信方式	Bluetooth標準規格 Ver.5.0
対応プロファイル	HFP、A2DP、AVRCP
対応コーデック	SBC
変調方式/周波数帯域	GFSK / 2.402～2.480GHz
最大通信距離	見通し約10m(Class2)
充電時間	約3.5時間(残量ゼロからフル充電まで)
音楽再生可能時間	約5時間(50%音量)
通話可能時間	約8時間(50%音量)
待受可能時間	約30時間
許容動作温度/湿度	温度：0～40°C 湿度：20～80%(ただし結露なしにて)
防水性能	IPX6：耐水形(いかなる方向からの水の強い直接噴流によっても有害な影響を受けない)仕様となります。以下にご注意ください。
外形寸法	幅9.5×高さ7.9×奥行32.1mm(突起物を除く)
質量	約195g
付属品	専用充電コード(コード長 約50cm)、外部音声入力コード(コード長 約50cm)、保証書、取扱説明書

※最大通信距離、充電時間、音楽再生可能時間、通話可能時間、待受可能時間はあくまで目安であり、使用状況によって異なります。充電時間については、充電器の容量によって充電時間が長くなる(もしくは短くなる)場合があります。

※仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。

※Bluetooth及びBluetoothロゴマークは、Bluetooth SIG, INC.の商標で、当社はライセンスのもとで使用しています。

※本製品は、特定無線設備として日本国電波法第38条の24第1項の規定に基づく認証を受けています。

※記載しているシステム名、製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

※取扱説明書のイラストが実際の製品と一部異なる場合があります。

## 安全上の注意

電気製品は間違った使い方をすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階に表示しています。

## 絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の方への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようにになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

<b>危険</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。
<b>警告</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
<b>注意</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与える可能性が想定される内容です。

## 絵表示の使用例

	△記号は、注意(危険、警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。左図の場合は「感電注意」が描かれています。
	○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。左図の場合は「分解禁止」が描かれています。
	●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。左図の場合は「ACアダプターをコンセントから抜く」が描かれています。

## 危険

	充電式電池(リチウムポリマー電池)が液もれしたときは、素手で触らない ●本製品には充電式電池(リチウムポリマー電池)が内蔵されています。万一、液もれしているのを見つけたら、素手で触らず、弊社お客様相談室にご連絡ください。 ●万一、液が目に入った場合は、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師の診察を受けてください。失明の原因となるおそれがあります。 ●液がからだや衣服についたときも、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときは医師に相談してください。
--	---

## 警告

	心臓ペースメーカーなどの医療機器を使っているときは 装着部位から22cm以上離す ●電波により心臓ペースメーカーなどの医療機器の動作に影響を与えるおそれがあります。
	雷が鳴り始めたら、安全のため、本機及び充電コードに触れない ●感電するおそれがあります。
	萬一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感じたら、すぐに使用を中止する ●そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。 ●煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社お客様相談室にご連絡ください。
	萬一、内部に異物などが入った場合は、すぐに使用を中止する ●そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。 ●販売店または弊社お客様相談室にご連絡ください。
	分解、修理、改造しない ●火災・感電の原因となります。

## 防水保護等級について

本機はJIS C 0920:2003(IEC 60529 : 2001)による水の浸入に対する保護等級「IPX6」(耐水形：いかなる方向からの水の強い直接噴流によっても有害な影響を受けない)仕様となります。以下に点にご注意ください。
●水かかるおそれのある場所で充電したり、保管しないでください。
●充電後は、USBポートカバーを確実に閉めてください。
●長時間、水中につかないでください。
●石けんの泡やオイルのついた手でさわらないでください(水分が浸入する可能性があります)。
●ドライヤーで乾かさないでください(密閉部が変形する可能性があります)。
●水の浸入による故障につきましては、保証期間内でも有料修理となります。

## 警告

	自動車の中や直射日光の当たる場所、火のそばなどでは使用しない。 また絶対に放置しない ●高温になると、危険を防止するため充電式電池(リチウムポリマー電池)が充電できなくなったり、保護回路が壊れて異常な電流や電圧で充電され、発熱、破裂、発火の原因になります。
	本機や充電コードの上に重いものをのせない ●破損や故障、コード損傷による火災・感電の原因となります。
	充電コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない ●コードが破損して火災・感電の原因となります。
	航空機内や医療機器の近くで使わない ●電波の影響で誤作動の原因になるおそれがあります。
	付属の充電コード以外では充電しない ●火災や感電、機器の故障の原因となります。
	火の中に入れない ●本製品には充電式電池(リチウムポリマー電池)が内蔵されており、誤って火中に入れると、発熱、破裂、発火の原因になります。

## 注意

	小さなお子様の手の届かないところに保管する ●誤飲など思わぬ事故を招くことがあります。
	長時間、大音量で聴き続けない ●聴力障害などの原因となることがあります。
	暖房器具や調理器具の近くなど、油・蒸気・熱のあたる場所に置かない ●破損・故障の原因となります。
	振動や衝撃の多い場所、ぐらついた台の上、傾いた場所など、不安定な所に置かない ●落下してけがをする可能性があります。また、破損・故障の原因となります。
	充電コードを熱器具に近づけない ●コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
	水に浸けない。水中に沈まない。水のかかる場所で充電しない ●故障や感電の原因になります。
	●充電後は、USBポートカバーを確実に閉めてください。 ●本機は完全防水ではありません。
	キャッシュカードなどの磁気カードを近づけない ●内蔵された磁石の影響により、カード情報が損なわれるおそれがあります。
	ほこりの多い場所に置かない ●火災・感電の原因となることがあります。
	シンナーやベンジン、アルコールなどで拭かない ●変形・変色の原因となります。
	自動制御機器(自動ドアや火災報知器など)の近くで使わない ●電波の影響で誤作動の原因になるおそれがあります。
	充電コードのプラグを抜くときは、コードを引っ張らない ●コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
	●必ずプラグ部を持って抜いてください。
	日本国外では使用しない ●本製品は日本国内専用です。日本国内で正規に販売された接続機器以外との接続による安全性は保証いたしかねます。 ●国によって電波使用制限が異なるため、海外で本製品を使用した場合、罰せられることがあります。

## 保証書とアフターサービスについて

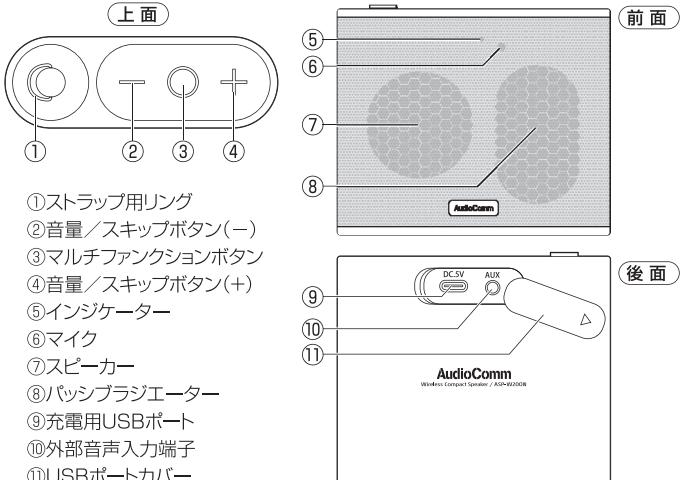
## 保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

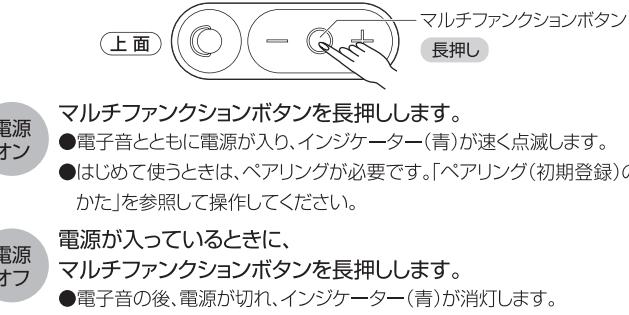
## アフターサービスについて

- 調子が悪いときは：修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。
- 保証期間中は：保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間が過ぎた場合は：修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

## 各部の名称



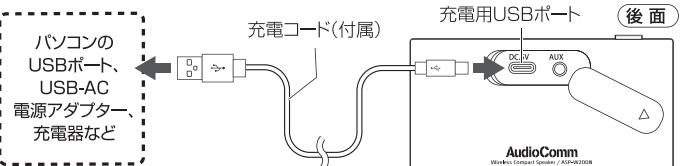
## 電源のオン／オフ



**ご注意** ●Bluetooth接続中及び外部音声入力端子にて使用中は、再生していない状態が続いても、本機の電源は自動では切れません。使い終わったら必ず本機の電源を切ってください。

## 充電のしかた

USBポートカバーを開け、下図のとおり接続します。充電が始まるとインジケーター(赤)が点灯し、完了すると消灯します。



## ヒントとご注意

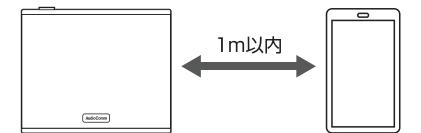
- はじめてお使いになるときは、事前に十分に充電してください。
- 充電池の残量が少なくなると、30秒ごとに電子音が流れます。しばらくすると電源が切れますので、早めに充電してください。
- 本機は充電中でも使用可能ですが、充電時間が長くなります。また、音声出力が多少不安定になることがあります。故障ではありません。
- 必ず付属の充電コードをご使用ください。また、付属の充電コードは他の製品には使用しないでください。
- 本機をパソコンで充電するには、電源供給ができるUSBポートに接続する必要があります。また、本機とパソコンは直接つないでください。USBハブなどを介してつなぐと正常に充電されません。
- 充電中にパソコンが省電力モードになると、正しく充電されません。
- 残量ゼロからフル充電まで約3.5時間かかります。十分充電したにもかかわらず持続時間が半分程度になった場合は、充電池の寿命と考えられます。
- 許容動作環境(温度:0°C~40°C、湿度:20~80%)を逸脱した環境下で充電した場合、充電が完了していくてもインジケーターが消灯することがあります。適正な環境下で再度試し、それでも問題が解決しない場合は弊社修理ご相談センターにご連絡ください。
- 充電終了後はUSBポートカバーを確実に閉めてください。隙間があると浸水により故障・感電のおそれがあります。
- 長期間使わなかったときは、充電池の持続時間が短くなることがあります。何回か充放電を繰り返すと、十分に充電できるようになりますが、寿命を延ばすため、未使用時でも3ヶ月ごとに充電し直すことをおすすめします。
- 家庭用コンセントで充電する場合はUSB-AC電源アダプター(別売)をご利用ください。

## 各部の名称

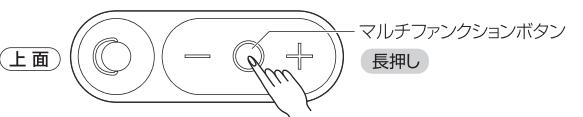
ペアリングとは、本機をBluetooth機器(相手側機器:携帯電話、パソコン、Bluetooth対応ワイヤレス音楽プレーヤーなど)に初期登録する操作のことです。

はじめて使うときは必ずペアリングを行なってください。

- 1 本機の電源が切れていることを確認し、手元に本機と相手側機器を用意します。
  - 両機器の間には障害物を置かず、1m以内にしてください。
  - 相手側機器は電源が入った状態にします。



- 2 マルチファンクションボタンを長押しして、電源を入れます。
  - ペアリングモード(接続可能なBluetooth機器を探している状態)になり、インジケーター(青)が速く点滅します。



- 3 相手側機器で本機を登録してください。

### Bluetoothの設定画面を開く

iPhone : [設定]→[Bluetooth]

Android : [設定]→[その他の設定]→[Bluetooth]  
[設定]→[無線とネットワーク]→[Bluetooth設定]

NTT docomo : [アプリ]→[設定]→[Bluetooth]

SoftBank : [設定]→[端末設定]→[無線とネットワーク]→[Bluetooth]

au : [設定]→[端末設定]→[無線とネットワーク]→[Bluetooth 設定]

Windows Mobile : [設定]→[接続]→[Bluetooth]

上記は携帯電話の場合の参考例です。機種や搭載OSのバージョンなどにより、ボタンや項目の名称、画面展開が異なります。各機器付属の取扱説明書を参照してBluetooth機器の検索・登録画面へ順次進んでください。

### 本機を登録する

相手側機器で本機の名称「ASP-W200N」が表示されたら、それを選択して登録します。パスキーやPINコードを求められた場合は「0000」と入力してください。

※機器によってはご自身で設定されたパスコードが必要な場合があります。

### 本機との接続が完了すると…

電子音が流れ、インジケーター(青)の点滅が点灯に変わります。その後、再生を始めるには、本機のマルチファンクションボタンを押すか、相手側機器側で操作してください。

## ヒントとご注意

- 対応プロファイル:本機はBluetooth標準規格 Ver.5.0(プロファイル:HFP、A2DP、AVRCP)に対応しています。複数のプロファイルに対応している機器の中には、プロファイルの選択が必要な機種もあります。その場合は、上記のいずれかを選択してください。上記以外のプロファイルでの動作は保証しかねます。
- 接続しようと思っている相手側機器が、他の周辺機器とBluetooth接続していると、本機とのペアリング操作ができないことがあります。その際は、他機との接続を解除したうえで本機とのペアリングを行なってください。
- 一度登録後、ご使用中に接続がうまく行かなくなったり、正常に動作しなくなったときは、ペアリング操作を再度行なってください。
- 最後に使用したペアリング済み相手側機器の電源が入っており、Bluetooth機能も有効なときは、本機の電源を入れると自動的に接続されます。ただし、機種によってその都度接続操作が必要な場合は、機器付属の取扱説明書を参考し、本機との接続を確立してからお使いください。
- 意図しない機器と接続されてしまう場合は、その機器の電源を切るかBluetooth機能をオフにしてから操作をやり直してください。

## 3つのモードと各ボタンの機能

本機には、Bluetoothモード(Bluetooth接続で音楽などを聞くとき)、通話モード(Bluetooth接続中に着信があったとき)、AUXモード(外部音声入力端子で音楽などを聞くとき)の3つのモードがあり、それぞれボタン機能の一部が異なります。下記をご参照のうえ、状況に応じて操作してください。

### Bluetoothモード

「ペアリングのしかた」を参照し、Bluetooth機器とペアリングしてから操作してください。

	長押し	短押し	短く2回続けて押す
○ マルチファンクションボタン	電源オン/オフ	再生/一時停止	接続解除
— 音量／スキップボタン(−)	ひと前の曲を再生	音量を下げる	音声アシスタントを起動
+ 音量／スキップボタン(+)	次の曲を再生	音量を上げる	—

## ヒントとご注意

- 再生中及び一時停止中は、インジケーター(青)がゆっくり点滅します。
- ボタンを押してから実際の動作まで多少時間がかかることがあります。
- 大きな音量で聴き続けないでください。周囲の迷惑になったり、聴覚に悪い影響を与えるおそれがあります。
- 音量調節は、本機と相手側機器のどちらでも可能ですが、本機側の音量設定を大きくすぎた場合、他のモードに移行したときに、思わぬ大音量になることがありますので、十分にご注意ください。
- 本機の音量設定が最大音量に達すると、電子音が鳴ります。
- マルチファンクションボタンを短く2回押して接続を解除したとき、本機はペアリングモードになります。その後、同じ相手側機器に再度接続するときは、マルチファンクションボタンを1回押してください。
- 接続機器により、ボタンの機能及び動作が異なる場合があります。

### 通話モード

携帯電話とBluetooth接続中に着信があったときのボタン機能です。

	長押し	短押し
○ マルチファンクションボタン	着信拒否	電話に出る/切る
— 音量／スキップボタン(−)	—	音量を下げる
+ 音量／スキップボタン(+)	—	音量を上げる

## ヒントとご注意

- 通話時はマイク部をふさがないようにご注意ください。
- お使いの機種によっては、携帯電話側で着信音や通話音の出力設定が必要な場合があります。電話に出たにもかかわらず、本機から音声が出力されないときは、各機器付属の取扱説明書を参照し、本機を選択してください。
- 携帯電話の機種や設定によっては、着信音が本機から1回だけ聴こえたり、その後は携帯電話側から通常の着信音がお出力される場合などがあります。
- 接続した機器により、ボタンの機能及び動作が異なる場合があります。

### 故障かなと思ったら

#### 充電できない

- 対応プロファイル:本機はBluetooth標準規格 Ver.5.0(プロファイル:HFP、A2DP、AVRCP)に対応しています。複数のプロファイルに対応している機器の中には、プロファイルの選択が必要な機種もあります。その場合は、上記のいずれかを選択してください。上記以外のプロファイルでの動作は保証しかねます。

- 接続しようと思っている相手側機器が、他の周辺機器とBluetooth接続していると、本機とのペアリング操作ができないことがあります。その際は、他機との接続を解除したうえで本機とのペアリングを行なってください。

- 一度登録後、ご使用中に接続がうまく行かなくなったり、正常に動作しなくなったときは、ペアリング操作を再度行なってください。

- 最後に使用したペアリング済み相手側機器の電源が入っており、Bluetooth機能も有効なときは、本機の電源を入れると自動的に接続されます。ただし、機種によってその都度接続操作が必要な場合は、機器付属の取扱説明書を参考し、本機との接続を確立してからお使いください。

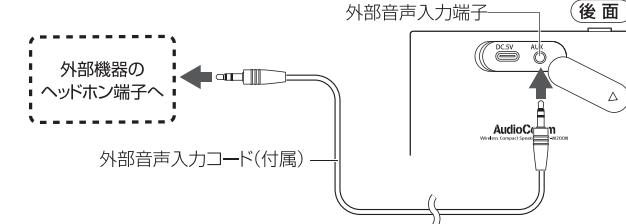
#### Bluetooth接続ができない

- 本機及び相手側機器の電源は入っていますか。
- 相手側機器は本機のプロファイルに対応していますか。
- 相手側機器との間に障害物があつたり、双方の距離が離れすぎていませんか。
- 相手側機器が他の機器と通信していませんか。

#### AUXモード

Bluetooth非対応の機器(ポータブルCDプレーヤーなど)は、外部音声入力コード(付属)を使って接続することにより、音楽を楽しむことができます。

- 1 本機及び外部機器の電源が切れている状態で下図のように接続します。



- 2 双方の電源を入れ、外部機器側で再生などの操作をします。
  - 正しく接続し、電源を入れると、本機は自動的にAUXモードになります。
  - 機器によっては、自動で再生が始まるものもあります。

	長押し	短押し
○ マルチファンクションボタン	電源オン/オフ	消音/消音解除
— 音量／スキップボタン(−)	—	音量を下げる
+ 音量／スキップボタン(+)	—	音量を上げる

- 3 使い終わったら、双方の電源を切った後、外部音声入力コードの接続を解除します。

	長押し	短押し
○ マルチファンクションボタン	着信拒否	電話に出る/切る
— 音量／スキップボタン(−)	—	音量を下げる
+ 音量／スキップボタン(+)	—	音量を上げる

## お手入れのしかた

必ず電源を切ってから行なってください。

- 本機の表面が汚れたら、柔らかい布でから拭してください。汚れがひどい場合は、水で布を湿らすか、中性洗剤を少し布につけて拭き、その後にから拭きをしてください。
- シンナーやベンジン、アルコールなどは使わないでください。変質したり、塗料がけげることがあります。

## 音が出ない(Bluetoothモード)

- ペアリングを行ないましたか。
- 本機または相手側機器の音量が最小になっていますか。
- 相手側機器との間に障害物があつたり、双方の距離が離れすぎていますか。

## ノイズやエコー音がする(Bluetoothモード)

- 相手側機器との距離や音量を調整してみてください。
- 無線通信を阻害する電磁波や無線LAN環境の近くで使用していませんか。

## 音が出ない(通話モード)

- 相手側機器の音声出力先が、本機以外の設定になっていますか。各機器付属の取扱説明書を参考し、本機を選択してください。
- 本機または相手側機器(携帯電話)の音量が最小になっていますか。

## 音が出ない(AUXモード)

- 3.5mmステレオミニプラグコードは正しく接続されていますか(プラグが外れたり、接続がゆるんだりしていませんか)。
- 本機または外部機器の音量が最小になっていますか。